

# 議会報告会 会場報告書

担当班：1班 班代表者：栗山 泰三

概要			
地区名 : 岡野地区 日時 : 平成 29 年 5 月 19 日 (金) 19 : 30 ~ 21 : 00 場所 : 岡野文化会館 (岡野コミュニティセンター) 参加人数 : 24 人(男 22 人・女 2 人)	<b>【出席議員】</b> 栗山 泰三 隅田 雅春 吉田 知代 渡辺 拓道 國里 修久 大上 和則	(1) 開会あいさつ : 栗山 泰三 (2) 議会報告 : 隅田 雅春 (3) 質疑応答 : 下記参照 (4) 意見・提言等 : 下記参照 (5) 閉会あいさつ :	挨拶・総括 : 栗山 泰三 司会進行 : 國里 修久 報告 : 隅田 雅春 受付・記録 : 大上 和則 渡辺 拓道 会場 (マイク) : 吉田 知代

## 【主な質疑】

質疑・意見	回答
・産業建設常任委員会の糯ヶ坪地区雨水浸水対策について（産業建設常任委員会所管事務調査）、当初の積算に比べて、予想以上に水量が多いということか。また、篠山川下流の西町、風深、吹上への影響があるかどうかも含めて、今後議会として調査願う。	・現在、仮設ポンプを設置していますが、浸水を防止できていない。今後、強力なポンプを設置することで、委員会として浸水対策が可能と判断しました。また、篠山川下流域へ影響については、引き続き、調査します。
・委員会等の県外視察の成果について、市政に反映されているのか。そういったことも含めて今後、議会報告会等で報告してほしい。	・視察研修を行ったからといって、直ぐに実現するものではありませんが、市政へ反映するなどの成果については、ご意見を踏まえて、今後、検討していきます。
・県外視察の参加人数と予算額はどの程度か。	・参加人数は、委員 6 名、事務局随員 1 名、市職員 2 名程度で、予算は 1 人当たり 60,000 円です。
・篠山川吹上から上流の景観もすばらしい。そういったところにも目を向けて整備等をお願いしたい。	・篠山川については、県の管轄であるため、市としてしっかりと働きかけるよう執行部に繋がります。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常任委員会での視察が篠山市の施策にどのように反映されたのか、すぐに成果がでないのなら、後年でもよいので報告してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最近の事例では、平成 28 年度に産業建設常任委員会で行った先進地視察は無電柱化事業に関するものでした。無電柱化事業については、住民による協議会を立ち上げるなど、事業促進のノウハウを学び、関係予算の審査で活かしています。しかし、視察の効果が即時的に表れるとは限らないことから、ご意見があったことを議会で共有します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会改革調査特別委員会における政務活動費に係る検討について、後払いに関する議論はあったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会内でしっかり議論しました。政務活動費を使用する場合は、事前に申請し、議長の許可をもらい、活動後、報告書を提出し、精算するということで 29 年度から取り組みを始めています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政務活動費の按分について、詳しく説明願う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議員個人の活動や政務活動の活動実態に応じて、政務活動費を按分して充当するという考え方です。なお、平成 29 年度からは、按分の適用を認めない運用をしています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 矢代地区のサル用電気柵の追加実施について、新規箇所を優先的に事業実施しているため、なかなか対応いただけない。市全体の事業の実施状況はどのようになっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 順次対応していますが、それには予算も必要です。各地区からの要望は市当局も認識しており、再度、意見があったことを執行部にお繋ぎします。</li> </ul>